

# 会員報

第44号 令和4年3月1日発行 (公財)日本ソフトテニス連盟



(公財)日本ソフトテニス連盟 会 長 安 道 光 二

#### ごあいさつ

会員の皆様におかれましては、およそ2年に及ぶ新型コロナウイルス感染症により多くの事業が中止や延期となり、ソフトテニスを楽しんでいただく機会が減り、寂しい思いをされたことと思われます。

当連盟としても、1 日も早く新型コロナの感染拡大が終息することを願いながら、全国の皆様がスポーツを通して笑顔になれるよう、加盟団体の皆様とともに様々な大会やイベントに取り組んでまいりたいと考えていますので、更なる御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます。また、YouTube など公式 SNS を昨年よりも活用し、様々な企画で動画配信を行う予定です。

今後もより一層の発展を遂げるべく邁進していく所存でございま すので、皆様の応援をよろしくお願いいたします。

## 令和 4 年度(2022 年)会員登録について

・新会員登録システムについて、当初令和4年4月1日より稼働を予定しておりましたが、年度初めに多い会員登録や大会受付を円滑に進めるため、予定を下記のとおり変更し運用いたします。

【現会員登録システム】 ~令和4年6月17日(金)

システム休止期間 令和4年6月18日(土)~令和4年7月3日(日)

【新会員登録システム】 令和4年7月4日(月)~

詳細は別途ホームページや SNS 等でお知らせいたします。

### 【大会情報】2021 ソフトテニスチャンピオンズマッチ

2021 年は新型コロナウイルス感染症の影響で国際大会はもとより国内主要大会も中止となりソフトテニス愛好者にとっては寂しい年となりました。これによりソフトテニス愛好者のソフトテニスへの夢が途絶え、情熱が覚めないようにするとともに、ソフトテニスを通して夢を描き、ソフトテニスが青少年の健全育成に貢献できるようにと、各世代のトップ選手が集結する大会「2021 ソフトテニスチャンピオンズマッチ」を、令和4年1月22日(土)・23日、丸善インテックアリーナ大阪で開催しました。ナショナルチーム選手と、U-20・17選手が1チームとなって戦う団体戦で行い、観客投票で選ばれたMVPは上岡俊介選手に耀きました。3位決定戦と決勝戦は YouTube 公式チャンネルで視聴できます。

【結果はホームページに掲載】<a href="https://www.jsta.or.jp/topics/2022/01/14115.html">https://www.jsta.or.jp/topics/2022/01/14115.html</a> 【公式チャンネル】<a href="https://www.youtube.com/channel/UCmkqivrWCRprV010U5oldiw/featured">https://www.youtube.com/channel/UCmkqivrWCRprV010U5oldiw/featured</a>



1月31日(月)発売の日刊スポーツ新聞全国版(一部地域を除きます)にも、2021 ソフトテニスチャンピオンズマッチの記事が大きく掲載されました。



### 令和3年度臨時評議員会 【議事録】

【I】日 時: 令和3年12月5日(日)9時30分 開始

【Ⅱ】開催方法:参集およびリモート

会場: ワタキューセイモア株式会社 5 階研修室 【Ⅲ】出 席 者:評議員: 46 名(リモート参加 3 名/欠席 4 名)

参与:1名 理事:22名(欠席1名)監事:3

#### 1 開会

公益財団法人日本ソフトテニス連盟定款第 23 条第 1 項および第 2 項により、評議員の定足数 50 名に対し、出席者 46 名となり定足数に達していることにより評議員会が成立すると報告があった。又、リモート開催となるが、映像や音声により意思疎通が図れる状況であると説明があった。

#### 2 会長挨拶

安道光二会長より、感染症対策を講じながらの大会運営、会員の維持と発展方法、連盟の組織運営の在り方、ガバナンスコードへの対応、その他慎重かつ大胆に変えていかなければならない課題が多いこと、皆様の知恵と経験を結集し、ソフトテニス競技発展のためにご協力いただきたいとの挨拶があった。

#### 3 議長選出

公益財団法人日本ソフトテニス連盟定款第20条第2項により、出席した評議員の中から互選により議長は選任される説明があり意見を求めたところ、千葉県の堀越評議員より「本日の評議員会議長は群馬県の佐藤評議員にお願いしてはどうか」との推薦があり、満場一致で議長に選任された。

#### 4 議事録署名人の指名

公益財団法人日本ソフトテニス連盟定款第24条第2項により、議事録署名人に兵庫県森田評議員 と山下理事が指名された。

#### 5 議決事項

#### 第1号議案 評議員の変更について

「説明者:野際専務理事]

加盟団体名	現在の評議員	変更後の評議員	
長野県	原 雅幸	跡部 亨	
富山県	高辻 則夫	山口 崇和	
福岡県	湯田 純孝	髙井 英生	
鹿児島県	辛島 康明	加藤 秀俊	

#### 【第1号議案質疑等】

議長より第1号議案の質疑等について促された。

#### 【第1号議案の承認】

議長より第1号議案について1名ずつ諮られ、多数の賛成により承認された。

#### 第2号議案 長期基本計画(案)について

[説明者:加藤理事]

今年6月に行われた定時評議員会で骨子案を提示し、 それを元に最終計画を作成した。ステージ1については 骨子案にはなかったが、企画委員会と国際委員会の合 同委員会を重ね、非常に重要な部分であるため追加す る。来年度からは、長期基本計画は20年、中期基本計 画として5年、そして毎年度たてる年度計画となっている。 必要に応じて検証を行い、実情に即した計画としていく。

#### 【第2号議案質疑等】

議長より第2号議案の質疑等について促された。

#### 【第2号議案の承認】

議長より第2号議案について諮られ、多数の賛成により承認された。

#### 第3号議案 中期基本計画(案)について

[説明者:加藤理事]

現計画をベースし、新規の部分を主に説明させていた だく。それぞれの取り組みの担当委員会を記載した。

学校部活動と地域部活動の両立支援は生涯スポーツ 委員会、企画委員会、競技委員会、指導者育成委員会 が担当する。

広報活動ではメディア対策として試合解説者の育成を 広報委員会と企画委員会が担当する。

競技力向上事業の医科学研究では、医科学的研究と 学会での発表を医科学委員会で担当する。

指導者育成のジュニア指導の資格取得の促進は指導 者育成委員会、審判委員会、競技委員会が担当する。

国際振興事業では国際普及員の人材確保、国際交流事業の実施については国際委員会と指導者育成委員会が担当する。国際大会開催の促進では、オリンピック参入を図るためにはワールドゲームズへの参加が必須となるためワールドゲームズ参加への環境整備を追加した。国際組織への活動では関係行政庁との連携体制の構築、JOC 国際人養成アカデミーへの参加促進、ISTF との連携強化を国際委員会が中心となって取り組む。

組織財政基盤の強化では、会員登録制度の推進として会員登録制度の付加価値の設定、サポーター(ファンクラブ制度)の導入会員、今後の会員登録数のシミュレーションも必要ということで掲げている。

暴力根絶の徹底では、危機管理マニュアルの作成を 危機管理委員会が担当する。

財政基盤の強化では、新たな財源の確保はそれぞれの委員会で新たな財源を確保するように取り組むこととしている。更に、中期・長期の財務計画の策定を財務委員会が担当する。

#### 【第3号議案質疑等】

議長より第3号議案の質疑等について促された。

#### 【第3号議案の承認】

議長より第3号議案について諮られ、多数の賛成により承認された。

### 第4号議案 令和3年度第1次補正予算書(案)について

〔説明者:荒木事務局長〕

今年度補正を編成するにあたり留意した点は、まず 事業の進捗状況、感染症の影響による収入・支出の 減の整理と、新たな計画による支出の増額である。 本年も事業中止により執行残となる場合には特定費 用として積み立て、次年度の支出に備える。

#### 一般会計

〈収入〉

- ・会員登録料: 9 月末までの実態と、10 月~3 月の 登録数を 2019 年度の 8 割として見込む。
- ・大会参加料:中止となった大会の参加料を全て減額とした。
- ・用具検定費:現時点での実態と、前年の下半期の 金額を参考にした。
- ・審判、出版物:9 月末時点の実態と、前年以前の下 半期の収入を参考にした。
- ・協賛金: 大会中止の影響により協賛は全て見込めず、減額補正する。

〈支出〉

- ・大会関係:中止となった大会の減、新規事業である チャンピオンズマッチ、アジア競技大会選手選考大 会の増により編成した。
- ・地域グループ育成費:この中に前年度会員登録に 応じた還元金が含まれており、実態に合わせて補 正する。
- ・広報活動費:動画配信やメディア対策など本年中に実施可能な広報事業を見直して計画した。
- ・表彰費: 大会が中止となったことによる作成費の減、 アジア選手権大会の再延期により国際大会入賞の 表彰式が行われないことを反映した。
- ・技術等級、公認審判、用具施設証作成:認定者数 や出版物の受注が増加傾向にあり、その分、作成費

も増となると見込む。

- ・普及振興事業費:執行されない事業の減、また、支部・ 地区が開催する小中学生大会の補助金を本年も実施 することによる増額を行った。
- ・テニスコート関係費:本年竣工したが、害獣対策の必要、 管理に必要な備品やネット購入、保険などを計上する。
- ・管理費:現在の執行状況と年度後半の見込みにより計上した。
- ・他会計への繰入金支出: 各特別会計で必要とする額を 計上。各会計でも大幅な減となっているため、繰入金支 出も減。

〈投資活動の部〉

テニスパーク棚倉は今年度において工事完成により、 積立金を取り崩すことによる収入計上、そして支出のため に同額を資産取得支出として計上し、本年においてこの 積立金については終了する。当初予定していた特定費 用の取崩は現状では不要のため減額補正。本年に事業 中止による執行残が見込まれるため、これは普及振興、 広報活動、大会開催の各特定費用として積み立て、次年 度事業に備える。ただし、積み立てる額については決算 状況により増減が発生する。

#### 助成事業特別会計

助成事業会計において、現時点で中止となった事業については収入・支出とも減。実施予定の事業は、補助金等の収入は内示額または試算により計上、支出は実施予定のものを試算により計上するが、今後の状況により収支とも減となる可能性がある。

#### 国際特別会計

感染症の影響によりほぼ事業が無いことから、大幅な減。これにより一般会計からの繰り出しは不要で、前期 繰越より執行する。

#### 傷害補償制度特別会計

補正なしとする。

#### 募金会計

現時点で令和3年度に募金事業の予定がないため、実態に合わせて減。

#### 【第4号議案質疑等】

議長より第4号議案の質疑等について促された。

#### 【第4号議案の承認】

議長より第4号議案について諮られ、多数の賛成により承認された。

# 第5号議案 令和4年度事業計画(案)および収支予算書(案)について

・令和4年度事業計画(案)について

〔説明者:野際専務理事〕

組織を強化するためには資金が必要であり、それ

が大きな課題となる。会員登録は、昨年は2019年度の75%であったが、今年度は90%となった。登録数増加の取り組みも必要となり、様々な事業を推進していく中で経費の面でこれを補える財政基盤をいかに整えていくかを検討している。企業に働きかけているが、社会の状況もあるため、難しい状況が続いている。

令和5年から中学生が土日に学校で部活動をやらないということになると、われわれ組織の屋台骨が崩れていく可能性があるため、指導者マニュアルの作成も含め、中高生に対する取り組みを推進していく。

ソフトテニス自体を広く理解してもらうため、今後も 広報活動を推進していきたい。

資格認定についても奨励していき、技術の普及と 同時に収入に結び付けていきたい。

「テニスパーク棚倉」は地域の活性化、競技力向上 のために活用していきたい。

今年度は大会開催について様々なご意見をいただいた。令和4年度は開催を推進していきたい。今までとは異なる運営方法が入ってくると思われるが、ご理解いただきたい。

国際振興事業はコロナ禍により、海外との交流などが全くない。アジア選手権も2年連続で延期となっており、関係会議も開催されない状況である国際関係は事実上ストップしているが、中期基本計画にもあるように、国際委員会・企画委員会と連携し、状況を見て国際振興事業を推進していきたい。

共通施策としても財源確保を上げている。様々な 面で新しい提案をさせていただくこともあると思うの で、ご協力をお願いしたい。

#### ・大会日程一覧について

「説明者:安藤理事】

11月29日現在で作成している。日本スポーツマスターズ 2022 の開会式を前日開催としたため、大会期間を23日(金)~25日(日)としたい。全日本レディース決勝大会シニアの部の日程は2022年10月11日~13日となり、次年度開催予定地は未定となる。その他は記載の通りとなる。

アジア競技大会日本代表予選会についてはアジア競技大会にダブルス種別が無いため、予選会もシングルスで開催する。申し込み締め切りを3月21日とする。評議員会後にホームページにも掲載するが、参加者には有効期限令和4年12月31日以降となっているパスポート所持を必須とする。これはアジア競技大会に派遣するために、この時期には把握しておく必要があることによる。

ミックスダブルス選手権大会の会場は 2 会場に分け、一般を棚倉、その他の種別は会津若松市となる。 コロナが心配されるが、来年度の大会については 中止は考えていない。大会の1か月前には判断し、 場合によっては延期とする。その場合には会場が問題となるが、ブロック代表理事を通じて各加盟団体へ会場の打診をさせていただくことになるのでご協力をお願いしたい。

大会要項は作成中のため、準備でき次第、送付・ HP 掲載させていただく予定となっている。

#### •新規事業「地域部活動支援事業補助金」について 「説明者:加藤理事」

スポーツ庁が令和5年度から学校部活動の地域 部活動への移行を踏まえ、主に中学生たちが継続 的にソフトテニスを楽しむ場を設け競技人口の維持 拡大を図るものである。学校部活動の無い日、秋田 県を例にすると、毎月第1・第3日曜日、その他土日 1日、平日调に1日は学校部活動が無い日となって いる。そのような学校部活動が無い日にテニスコート を確保し主に中学生に提供する。中学生は特定す ることなく誰でも参加できるようにしたい。 令和4年度 はテストケースとして8ブロックに1,2のモデル地域 を設定し、課題を整理し令和5年度から本格始動を 目指している。例に限ることなく研修会や講習会も実 施していきたいと考えている。補助の対象団体は都 道府県連盟、市区町村連盟・協会、所属のクラブ団 体を考えている。対象期日・回数は来年7月1日か ら3月20日の期間としている。年3回以上は実施を お願いしたい。対象経費は、日当は1日 2,000 円を 上限。謝金はJSPOの公認コーチを対象とし1時間 あたり 2,000 円を上限に1回あたり 2 名まで。ボール 代は試合形式の場合は使用面数×4 個を上限。練 習・講習会形式の場合は使用済み中古ボールを活 用いただきたい。その他費用は年間合計3万円を上 限としたい。補助率は2分の1、上限は10万円とな る。参加料を徴収して持ち出し額を減らしていただき たいと思う。手順など具体的な内容は事務局から準 備ができ次第ブロック長へ送らせていただくので、ご 協力をお願いしたい。

#### ・令和4年度収支予算書(案)について

〔説明者:荒木事務局長〕

収入に見合った支出、積立金の活用を入れて編成している。令和3年度決算による繰越金や令和4年度の収入状況によって、補正にて対応する。

#### 一般会計

〈収入〉

- ・会員登録料:2019年度の9割を見込む。
- ・維持会費収入:公認事業者制度を再考することを 前提に計上した。決定した内容により補正が発生 する可能性がある。
- ・大会参加料:開催地に合わせ、過去の同地域での 参加数を参考に見込む。
- ・協賛金:大会事業再開により、ボールおよび全日

本インドアの協賛を見込む。 〈支出〉

- ・大会開催地関係費:日本連盟負担金、全日本小学 生の参加者旅費補助、その他、大会再開により必要 な支出を計上した。
- ・地域グループ育成費:今年度登録数の見込みに合わせて還元を試算した。
- ・広報活動費:動画配信、地上波テレビの放送、新聞 紙面への働きかけなど必要事業を計画し試算した。
- ・表彰費:来年度は大会事業再開、国際大会が開催 予定であることから、式典の費用を見込み増とした。 ここには代表選手の活動奨励金が計上されるため、 成績によってはその増額が必要となる。
- ・普及振興事業費:地域部活動対策支援、ナショナルチーム選手派遣事業などを計上する。
- ・テニスコート関係費:軽微な補修や備品購入、委託 管理費用などを見込む。
- ・会員登録関係費:前年度はシステム構築費が発生していないため、令和4年度は前年に比して大幅な増加となっている。新たなシステムにおいて会員登録などの手数料負担を想定して計上する。今後の構築によって変動した場合は補正する必要が出てくる。
- ・他会計への繰<mark>入金支出</mark>:特別会計で必要とする額 を試算し計上している。

#### 〈投資活動の部〉

特定費用として積み立てた大会運営補助、普及振興事業、広報事業を取崩し、令和 4 年度事業に使用する。これを原資として各事業を実施していく。

#### 助成事業会計

〈収入〉

助成金・補助金は対象事業が変わらないため、令和3年度当初並みに見込む。これだけでは支出に対して賄いされないため、一般会計より繰り出して補う。 〈支出〉

競技力向上事業、助成金対象となる大会事業の再開により、支出は前年度に比して大幅な増となる。令和4年度はアジア競技大会開催が予定されており、延期となったアジア選手権大会が令和4年度内に開催されれば、大きな国際大会が2回となる。その可能性を想定して強化費用を見込んだが、他の国際大会の開催状況によっては補正が必要となる。

#### 国際会計

現時点で国際活動に対し見込める収入はなく、全て 一般会計からの繰り出しとなる。

支出については、海外派遣等の活動が現時点では 具体的な計画になっていないものもあるが、2019 年 度までを参考に事業費を見込む。

加盟費は、アジア連盟および国際連盟への加盟費であ

り、必要額を計上。

#### 傷害補償制度会計

前年度と同額を計上。

#### 募金会計

免税募金の事業を実施した場合に備え、この会計を準備している。募金 500 千円があった場合として、収支に計上する。募金事業を実施した場合は、その額に合わせ、補正する予定。

#### 【第5号議案質疑等】

議長より第5号議案の質疑等について促された。

#### [柏倉評議員]

中期計画2頁8番に新たなジュニア審判DVDの検討とあるが、現場では小学生の審判検定会もやっているが、小学生の集中力が続かないため、小学生レベルで使える目で教えられるDVDをなるべく早く作っていただきたい。「木原理事」

作成を前向きに十分検討していきたい。

#### [小野間評議員]

資料 2 の地域部活動支援事業補助金の対象団体から 多数応募があった場合団体数の上限はあるのか。 「加藤理事」

予算には限りがあるので実施団体を無制限にはできないため、各都道府県1,2程度になるかと想定している。 「小野間評議員」

プラスチック製会員登録証の廃止について、会員登録制度の推進にあたって会員証がないと小中学生向けに困ることもある。昨年までは登録証が届いた際に一生使うものであると本人に渡し続ける意識付けになっていたが、無くなってしまうと困るので、復活を希望したい。

#### [佐藤議長]

会員登録は関連事項があるため最後に説明させていただく。

#### [澤田評議員]

メーカーも会員が減ると売り上げが減り、苦しくなると思う。 愛知県で日本リーグが中止となった代替大会をすると聞いたが、日本連盟として補助するつもりはないのか。かなりのチームが参加すると聞いており、ある程度の補助をしてもいいのではないか。

中高の選手がどんどん減っていき増やすのも難しい中で、生徒数が少なく、部活の維持ができない。今後も会員数の維持がかなり困難になってくる。それに伴いメーカーも商品が売れなくなる。以前も提案したが、試合ごとにボールを買い上げたらメーカーの売り上げにつながるので検討していただきたい。

#### 「野際専務理事】

代替大会について補助金を出すことは考えていない。メーカーについてはメーカーが潤うことは会員が増えることにもつながるため、継続して協議している。ボールについては参加料の値上がりに影響してくるので今のところ実施はしていないが、検討させていただくので時間をいただきたい。

#### [運上評議員]

大会日程、全国中学校大会の日程は8月19日(金) ~21日(日)で予約を進めている。

令和5年以降に影響するが、第52回ハイスクール ジャパンカップは第4日曜日を最終日に設定していた が、令和5年度はインターハイが北海道開催のため、 6月の第3日曜日を最終日で調整にはいっているの でお知らせしておく。

#### [佐藤議長]

全国中学校大会の日程については中体連との整合はとてれているのか。

#### [上田評議員]

最終確定は 5 月の 5 者会議で確定されるが案としてその予定で準備を進めている。

#### [運上評議員]

資料2の地<mark>域部活動支援事業補助金について、実施手順の中で活動計画書を提出、終了後報告書とあるが、様式が設定されて提出となるのか。様式が整備されていないようであれば整備をしていただきたい。「加藤理事</mark>

様式は事務局で作成し、4 年度についてはブロック 長へお示しを考えている。あまり複雑にならないよう検 討している。

#### [永井評議員]

全日本選手権大会開催地の固定化について、これから順番が回ってくる都道府県からすると準備の関係もあるので気になるところなので、いつからなのか、いつまでに決まるのか教えていただきたい。

#### 「野際専務理事]

固定化についてはこれから検討を進めるところであり、 当然開催予定地に迷惑をかけないよう配慮させてい ただく。

#### 【第5号議案の承認】

議長より第 5 号議案について諮られ、多数の賛成 により承認された。

#### 5 支部提案

(1)富山県連盟

[高辻評議員](※リモート参加)

9月30日付で10月以降の大会を中止の連絡があ

り、日本連盟も苦慮されたことは理解できるが、会員の 方にこの文章だけで納得していただくのは難しい状況 だった。新たに2つほど大会が開催される旨の案内が あったが、全日本選手権、クラブ選手権や実業団リー グを目指して活動している選手もおり、会員登録の意 義やモチベーションをどこに向けて練習するのか難し い。バドミントン等は室内競技にもかかわらず全日本 選手権が開催されている。ソフトテニスにおいては昨年に続き2年連続で中止となっている。これを目指し ていた一流選手も多い。次年度は慎重にご検討いた だき、判断していただきたい。丁重な説明責任を果た していただきたい。

#### [安藤理事]

コロナウィルス感染拡大の状況を踏まえ、今年いっぱいは中止ということで検討させていただいた。最終的には感染者が落ち着いたが、決定時点の判断ではやむを得なかった。来年度に関しては中止は考えていない。まず延期とさせていただく。また、1か月前に判断し告知させていただく。緊急事態宣言等が発出された場合はそれに限らない場合もある。説明責任としては、来年万が一中止となった場合はいつどこでどういった理由で中止となったかお伝えさせていただく。

#### (2)神奈川県連盟

#### [鈴木評議員]

神奈川県中体連としてはプラスチックの会員証がステータスだと考えている。システムが良くなるのは聞いている。紙製の会員証がプリントアウトできるように検討しているとも聞いているが、顧問の先生も慣れない方が多い中で負担が増えてしまう。神奈川県中体連は日本で一番多く昨年も1万8千人が登録している。その中で登録していただく条件として薄れてしまうと感じている。紙の会員証も耐久性を考え、最低でも紙の厚さやラミネート加工されているものが良い。中学生でもスマホを持っていない生徒やスマホを持ち込めない学校が多いと聞く。再度ご検討いただきたい。

#### [安藤理事]

先ほどの小野評議員からの質問と合わせて回答させていただく。当初からお話をさせていただいていたが、プラスチックの会員証の制作費用・送料の負担が大きくなってきたというのがある。それにより、パソコンやスマホから閲覧できるよう開発をおこなっている。遅くはなったが、11月30日からマイページをオープンし受付を開始した。再度プラスチックカード作成は難しい状態である。紙のカードの印刷についてはご負担になるのは承知しているが、必要な方についてはご協力をお願いしたい。材質については審判・技術認定証と同等で検討している。

#### [小野間理事]

小中学生はほとんどスマホをもっていない。福島県では6割程度が小中学生である。会員カードは最初に1回発行するだけなのでそれほど負担にならないのではな

いか。これが無くなるとなれば中体連など全国大会に出る選手以外が会員登録しない可能性がある。学校での部活動が無くなると、学校で発行ができないので各支部の負担になる。発行に係る事務負担が県連負担となるだけではないか。日本連盟の負担で発行できないかご検討いただきたい。

#### [安藤理事]

すぐに回答はできないが、様々な状況を勘案して来期 で検討させていただきたい。

#### 6 報告事項

(1)ガバナンスコードについて

[説明者:野際専務理事]

4年に一度、今年度が適合性検査の対象年度である。まだ評価が届いていないが、いずれ評価が届き次第、それを参考に次回に向けて動いていくことになる。毎年、自己説明は出さなければならない。43項目について、検査対象となっている。各県については各県体育協会からとなると思うが、いずれ各都道府県連盟においても同じような制度がおりていくと聞いた。日本連盟の43項目より少なくなるとは思うが同じようなガバナンスコードの指導が入ると思うので、日本連盟の資料を参考にしていただければと思うので協力をお願いしたい。

(2)令和3年度表彰について [説明者:石川理事] 表彰者は配布資料のとおりとなる。

(3)国内大会入賞選手表彰基準の改定について 「説明者: 石川理事」

全日本ミックスダブルス選手権について追加した。レプリカについては全日本選手権大会のみとする。 令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

(4)審判委員選考規程の策定について

「説明者:木原理事〕

ガバナンスコード適合のため策定する。最終的には支 部で開催される大会についてもこれに準じた形で実施し ていいただきたい。

(5)競技規則、審判規則、大会運営規則の改定について

[説明者:安藤理事]

次回ハンドブック増刷分から改定内容を反映させる予定。アウトコートについては硬式の基準にあわせるようにした。審判台については固定式もあるため、原則とした。ラケットはメーカーと相談し、明確に記載した。ボールと

いう表現は打球に修正した。質問または提訴はダブルスの際は2人のうちの1名ということを追記した。ヒートルールについて追記した。競技施設については設備に関するものもあるため追加文言を入れた。また、規則関係全てに記載されている「採点表」を「採点票」に修正した。

(6)令和4年度以降の国民体育大会について 「説明者:安藤理事]

今後の国体の参加チーム数について、配布資料のと おりお示しする。

(7)大会ローテーションについて

[説明者:安藤理事]

今後のローテーションは資料記載のとおり。ミックスダブルス選手権大会は令和6年度近畿ブロックをスタートに持ち回りでお願いしたい。

(8) 令和 4 年強化チームについて

「説明者:北本理事」

ナショナルチームは基本的には昨年と同様だが、辞退者がいるため一部新しい選手を追加している。全日本アンダーについては令和3年は令和2年の強化選手を継続したが、令和4年は新しいメンバーで編成した。令和4年はアジア競技大会の年となるため、ソフトテニス競技としても社会に大きくアピールできる機会なので良い結果を報告したい。コロナの影響もあり練習や合宿に影響は出ているが、3月には選手選考を始めていく。皆様から協力をいただきながら強化を推進していきたい。

(9)会員登録の新システムについて 「説明者:安藤理事〕

11月30日からマイページが利用可能となっている。 今後も新たなコンテンツを準備中で、令和4年度から正 式オープンとなる。令和4年になってからリモートで実務 担当者の研修会を実施予定となっている。

(10)テニスパーク棚倉について

[説明者:山下理事]

6月以降の進捗を報告する。完成後、雑草や害獣対策が必要となった。オープンは来年4月に向けて準備している。貸し出しはするが、公益事業としては貸出料を取れないので、維持管理のための協力金として負担していただく予定だが、内閣府と確認しながら具体的にお示しできるタイミングで案内する。今年度については強化チームの合宿で利用している。今後、その他の事業で活用していく予定で、加盟団体の皆様にもソフトテニスの普及のため利用していただきたい。

(11)主催大会における動画・静止画撮影について [説明者:山下理事]

今までは取材関係者に対するルールが無かったが、 昨今トラブル等もあるため作成した。

(12)全国小学生・中学生・高校生指導者研修会 「説明者:川西理事]

令和4年3月5日(土)・6日(日)で実施を予定し ている。会場は和歌山ビッグホエール(和歌山県和歌 山市)の予定。

(13)令和4年度定時評議員会日程について

「説明者:野際専務理事]

期日: 令和4年6月12日(日)

会場: 東京都(予定)

臨時評議員会については、新しい役員により決定する ため現時点では決まっていない。日程について臨時評 議員会で予算承認していただいているが、そのためには なっているが、日曜日は国体のブロック予選が重なっ 11月の上旬の理事会で承認、それには10月には翌年 てしまうブロックがある。どうしても他の日程が確保でき **度予算をたてなければならない。そのため、臨時評議員 ず、ご迷惑をおかけするがご協力願いたい。** 会の日程について時期を検討している。大きな変更があ れば早い段階で皆様にお知らせする。ご意見等あれば 事務局まで連絡いただきたい。

#### (14)その他

#### [野際専務理事]

アジア競技大会(中国杭州)はJOCが渡航手配をするた め、我々の自由はきかない大会である。参加する可能性 がある選手はパスポート等必要となる。予選会の勝者とナ ショナルチームが対象者となる。エントリーの際に 2022 年 12月31日まで有効なパスポートが必要になるためご留 意いただきたい。

広報委員会から報告のあった撮影に関するルールは、 あくまで日本連盟主催事業が対象となる。合宿時も選手た ちに指導を行っている。

#### 7 その他

#### 「上田評議員]

全国中学校大会の日程は8月19日~21日(日)と

#### 【V】閉会

萬副会長より、長時間にわたりご協力いただいた 旨謝辞がのべられ閉会の挨拶があった。

#### 令和3年度日本スポーツ振興センター助成事業一覧

下	記の事業については、独立行政法	5人日本スポーツ	振興センターの助成を受けて実施	値いたします。		
	基金助成		くじ助成			
	事業名	助成額(内示)	事業名	助成額(內示)		
	競技会開催 *審査中につき 金額が異なる場合があります	0	アウトリーチ *今年度はコロナにより事業中止 競技者育成プログラム(Step-1~Step-3) ド ー ピ ン グ 検 査 *今年度はコロナにより事業中止	0 45,207,000 0		
	計	0	計	45,207,000		
	スポーツ振興基金 <b>独立行政法人日本スポーツ審興センター</b>		スポーツく ©©©© □			
	令和3年度日本オリンピック委員会補助事業一覧					
	下記の事業については、公益財団法人日本オリンピック委員会の補助を受けて実施いたします					
	事業名			補助額(內示)		
	選手強化活動事業					